

V 新刊紹介

★「続 近想遠望」長尾省吾著 香川大学前学長で同大医学部付属病院長も務めた長尾省吾さん||高松市中央町||が、昨年10月に出版した自叙伝の続編。

本書は、「母・父のこと」「青春期でのこと」「医師になって」「香川大学長として」など12項目で構成。家族や友人との思い出、岡山大医学部での恩師や同級生との交流などのエピソードを収録している。

脳神経外科分野の知識や技量向上を目的に1976年の冬から2年半



にわたって留学した米国では、コミュニケーションに苦労しながらも世界の研究者らと親交を深めた経験に触れるなど、数多くの人々との出会いによって自身の人生が豊かになったなどと回顧。さらに、「将来を託す若者の皆さんに奮起していただきたい」と締めくくっている。A5判、84ページ。

(美巧社・1650円)